

平成三十年 論語に学ぶ人間学セミナー 第六回

主催であります西はりまライオンズクラブの新年度が七月からとなっているため、役員交代となりました。新しく今年度の会長は、株式会社 オーツカテック社長の大家一登となり、論語セミナーの担当委員長は、株式会社 新宮運送社長の木南一志となりました。来年六月までの担当として毎回のお世話をさせていただきます。

今年で十年目に入った論語セミナーですが、「仮名論語」の素読に始まり、昔ほどの学校にもあった銅像の二宮金次郎が薪を背負いながら読んでいたという「大学」をテキストに学んでおります。また、後半は、講師である三木英一先生の著書を教材に人間学を味わうという企画となっております。

十二月までの講座ですが、いつからでも参加できますので、龍野商工会議所のHPや本誌折込みチラシにて申し込みください。

■ かなるんご き し だいじゅうろく 仮名論語 季氏 第十六

孔子曰 わく、生れながらにして之を知る者は上なり。
学びて之を知る者は次なり。困みて之を学ぶは、又
其の次なり。困みて学ばざるは、民之を下と為す。

学ぶ上で大切なことを教わりました。

聖人は生まれながらにして之を知っている上等の人。其の次は、賢人で学んで之を知る。私達凡人は、行き詰まって苦しみ、学ぶことで賢人になる可能性が増えてくる。一方で、苦しんでも学ばない者は民衆もこれを下等とする。

■ だい がく 大 学

心焉に在らざれば、視れども見えず、聴けども聞
えず、食らえども其の味を知らず。此を身を修むるに
は、其の心を正しうするに在りと謂う。

「心ここに在らず」という喩えがありますが、その出典が「大学」にあるということで今回は「正心・修身・齐家」について学びました。

■ 「心豊かに老いを生きる」(三木 英一 著)

今回の講話は、「みずみずしい感性」のなかで、三木先生が大好きといわれるウィリアム・ワーズワースの詩を英語で読み、日本語で味わいました。

The Rainbow
My heart leaps up when I behold
A rainbow in the sky:
So was it when my life began.
So is it now I am a man.
So be it when I shall grow old
Or let me die!
The Child is father of the Man.
And I could wish my days to be
Bound each to each by natural piety.

W.WORDSWORTH

人間学セミナーは自身を磨く為の良い機会になると思います。皆様のご参加お待ちしております。
次回 平成三十年度 第七回は、九月十二日（水）午後六時三十分からです。